

## 令和3年度第1回コンテンツ部会 議事録

2021/6/28

作成

アシックス株式会社/江崎グリコ株式会社

【日時】2021年6月22日(火) 10:00~12:00

【場所・方法】オンライン会議(ZOOM)

【参加団体】(順不同、敬称略):

日本ストライカー、アシックス、Zimmer Biomet、味の素、神戸薬剤師会、トータルブレインケア、Moff、JTB、神戸市健康局健康企画課、マルヤナギ小倉屋、ジョンソン・エンド・ジョンソン、雪印ビーンスターク、阪急阪神ホールディングス、住友生命、兵庫県立大学、中外製薬、ヤノ運動用品、リンクアンドコミュニケーションズ、CareMates、ラスイート、神戸医療産業都市推進機構、三菱商事、reoblige 合同会社、日本老年学的評価研究機構、京都大学、イーライリリー、フジッコ、スミスアンドネフュー、神戸福祉市民協会、江崎グリコ

【議題】

1. 新規参画団体/新担当者様の自己紹介
2. MY CONDITION KOBE の活用について(神戸市様)
3. MY CONDITION KOBE の健康ポイント交換特典について(神戸市様)
4. 各プロジェクトの進捗報告(各PJリーダー)
5. 厚生労働省大規模実証事業について(京都大学様、JAGES様)

【議事】

1. 新規参画団体/新担当者様の自己紹介

Reoblige 合同会社様紹介(垣本様)

- ・「美と健康は腸から」をモットーに6年前創業
- ・水耕レタス・焼き菓子・一汁三菜などのサービス展開

日本老年学的評価研究機構(JAGES)様紹介(山口様)

- ・予防健康テーマに健康と暮らしの調査を75万人の高齢者に実施

神戸市健康企画課様紹介(渡辺様、村田様、高原様、三吉様、上村様)

2. MY CONDITION KOBE の活用について(神戸市健康データ活用専門官 三木様)

(1) ICT を活用した健康づくり支援

- ・MCKには自身で入力、見える化し、行動変容につなげるアプリが搭載。
- ・価値は①健康情報の提供、②AI健康アドバイス、③健康イベント、健康ポイント提供。
- ・利用者は現在6,378人でアクティブユーザーは30%ほど、メインターゲットは40~60代。アクティブユーザー率を重視。

・活用事例：①神戸市&兵庫県立大のコロナ禍でのナッジ最適化研究 ②Moff&東大のオンライン運動プログラムを活用したフレイル予防 ③LC&阪大の健康アドバイス最適化 AI

・実証事業には、学術機関のみでなく民間企業も参画可能（市民合意の上学術機関と協業で）

## （２）開発・研究・実証によるイノベーション創出

健康データの利活用について

・市民 PHR やヘルスケアデータ連携システムのデータは学術機関へのみ提供可

・データ利用を希望の際は、共同研究者である学術機関の先生から依頼/問合せをもらう運用に変更。

・データ（個人情報）は学術機関内に留まり、企業はデータにアクセスできないが、データを利用した分析結果を知ることができる。

・企業が自身で収集したデータを分析目的で学術機関に提供し、市が学術機関に提供したデータと突合して、学術機関が突合されたデータを研究に利用することは可能。

・ただしその際は、企業と学術機関が共同して実施する研究自体が、予め神戸市の倫理審査委員会で承認されている必要がある。

（例）Moff さまのお取り組み：健康アプリ活用者の年齢層で切り希望者募集、またはオフラインでの参加者募集し企業より説明。運動プログラムのなかのリストバンドからデータを取得し、大学へ分析依頼。

・募集方法はアプリから、また神戸市より参加者の募集も出来る。

## 3. MY CONDITION KOBE の健康ポイント交換特典について（神戸市健康企画課様）

・健康ポイント：行動ポイント、達成ポイント、加算ポイントの3種あり

・企業メリット：商品宣伝効果、協賛企業としてロゴマーク、数量限定での提供も可

・人気商品：(省略)

## 4. 各プロジェクトの進捗報告（各PJリーダー）・・・意見/決定事項のみ記載

・ PJ1 神戸市民の健康リテラシーを向上させる活動

神戸市HPのアクセス数率とその先のアクションが課題である。サイトへの誘導案、アイデア募集。HPへの掲載情報についても、参画企業様から情報を提供願いたい。

・ PJ2 高齢者の介護予防のための活動

・ PJ3 妊娠期から中高年までの栄養課題の改善のための活動/朝食欠食改善

オンラインの妊婦向けの運動プログラムの活用可能性の議論をするためMoffさまも参画いただき次回よりPJミーティングに参加。

朝食欠食改善のための介入試験を今年度実施予定。介入手段を持つ企業の参加を募集する。味の素様に直接ご連絡。

- ・ PJ4 中高年から高齢者の認知機能向上のための活動  
神戸モデルとの連携難しいとのこと。HRM 高齢利用者へ参加者を募ってはどうか。また、認知症現場の医師、医師会に協力依頼してはどうか。クリニックにパンフを置かせてもらい、非薬物療法を試してみないか勧めてみる等。
- ・ PJ5 健康無関心層の行動変容を促進するための活動  
市は健康創造都市の事業の中で「共創の場（＝健康創造都市 KOBE 推進会議）」をつくって、産官学民連携の推進のために提供している。健康創造都市は、参画団体の協業でつくりあげていくものであり、神戸市も参画団体の一つに過ぎない。よって、推進会議の運用やルールは参画団体の議論で決めているし、各プロジェクトの進め方について神戸市の意見を聞く必要はない。評価方法等についても、市は押しつけることはせず自由。そもそも神戸市に承認する権限をもたせていない。取り組みについて単発での取り組みか長期的な取り組みかも自由としている。  
意見としては、1年以内が理想、長くて3年で期限を区切ったプロジェクトがいいと思う。5～10年のような大きなプロジェクトなら、小さく分解して、1年目、2年目と目標を定めて実施。  
食品メーカーがNPOと組んで子供食堂で取り組む件参考にする。

## 5. JAGES の説明について (JAGES 京都大学 近藤様)

・ JAGES は 2010 年設立、健康にやさしいまちづくりに取り組む。健康アプリデータを用いた健康啓発と行動変容がテーマ。ハード面（三宮クロススクエア）と、ソフト面（健康ポイント事業）両面で取り組む。

アイデアをいただけるなら個別の協業またはプロジェクト単位で協議したい。参加企業の多数の視点でコンテンツ提供の効果に興味をもっていただきたい。コンソーシアム内で複数のコンテンツが並んだ状態でヒトの行動変容を見る実証実験は魅力的。

## 6. その他

- ・ 熱中症予防「水を飲もうキャンペーン」へのご協力（神戸市様）  
ご賛同いただける団体あれば、健康企画課まで連絡（8/末締切）